

四季の風



■発行責任者／病院長 豊田 秀徳
■編 集／大垣市民病院広報・企画委員会

広報 第93号

●発行 令和8年1月1日●

CONTENTS

大垣市民病院 集中治療科の紹介……P1
集中治療室(看護部) ……………P2

地域連携医療機関紹介 ……………P3
今日からできる肺炎予防 ……………P4

大垣市民病院 集中治療科の紹介

集中治療科 医長 横山 達郎

はじめに

平素より当院の診療にご協力いただき、誠にありがとうございます。
2025年4月に設立された集中治療科についてご紹介いたします。

高度急性期医療を安心して提供するためには、重症患者に対応できる集中治療室とチームが必要です。各診療科の医師が高いレベルの医療を提供できるよう、その土台を支えること。それが私たちの役割です。

本稿では、この体制の中核を担う集中治療科の取り組みをご紹介します。

救急外来、手術室、集中治療室をつなぐシームレスな医療

当院の特徴は、集中治療科、救急科、麻酔科が連携し、切れ目のない医療を提供していることです。

救急科は24時間365日、救急外来で幅広い患者さんの診療にあたっています。麻酔科は手術室を中心に周術期管理を担い、安全な手術を支えており、緊急手術にも対応しています。集中治療科は、集中治療室において重症患者さん、高侵襲手術後の患者さん、院内急変患者さんなどの全身管理を担当しています。

この3科が日常的に情報を共有し、患者さんの病態に応じて最適な診療体制を組むことで、救急外来から手術室、集中治療室へと、シームレスに高度急性期医療を提供することが可能となっています。

集中治療科が担う役割

集中治療科は、重症患者さんの生命維持と全身管理を担う部門です。高侵襲手術後の管理、重症敗血症、ARDS、多臓器不全など、あらゆる重症病態に対応しています。

どのような病態であっても、臓器機能を総合的に評価し、適切な治療を提供する。それが私たちの使命です。

多職種チーム医療の実践

集中治療は、医師だけでは成り立ちません。当科には集中治療専門医3名が在籍し、医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士、言語聴覚士、管理栄養士が一つのチームとして患者さんの治療にあたっています。

毎日のカンファレンスでは、各職種の視点から患者さんの状態を評価し、治療方針を検討します。それぞれが有機的に連携し、患者さん一人ひとりに質の高い医療を提供しています。また、呼吸サポートチーム、院内急変対応チーム、感染制御チームなど、院内の専門チームとも連携しています。

各職種のコアメンバーが密にコミュニケーションを取り、最適な治療戦略を練り上げる。この知の結集、多職種連携こそが、早期回復と合併症予防を実現する鍵です。



チームとしての歩み

当院の集中治療チームは、一人の若手医師の呼びかけにより、2017年に立ち上げられました。以来、数多くの重症患者さんの診療を共に経験する中で、各職種間の相互連携は強固なものとなっています。

私たちにとって最大の試練は、COVID-19流行期でした。感染のリスクと向き合いながら、日々変化する病態に対応し続けた辛い時期でしたが、この困難を共に乗り越えたことで、職種や経験年数に関わらず意見を言い合える風通しの良い文化が根付き、チームの結束力は一層強いものとなりました。

こうした実績を積み重ねる中で、院内各診療科からの信頼を少しずつ得て、2025年4月、集中治療科が正式に診療科として設立されました。

高度急性期医療を目指す若手医療従事者の参画も増え、活気ある雰囲気の中で診療を行っています。テーマ別の勉強会や職種の枠を超えた相互教育を重視し、双方向の学び合いを大切にしています。集中治療科は、医療の実践の場であると同時に、学び舎としての役割も担っています。



私たちは、このような環境で共に働く仲間を常に募集しています。集中治療に情熱を持ち、チーム医療を大切にできる方々のご参加を心よりお待ちしております。

高度医療を支える基盤

各診療科の専門医と日常的にコンサルテーションを行い、専門的な知見を取り入れながら治療方針を決定しています。集中治療科に求められるのは、高度な医学知識や技術だけではありません。各専門家と対等に議論し、最良の治療方針を導き出すコミュニケーション能力、各領域の専門家との共通言語を理解する力も不可欠です。

おわりに

多くの方々が集中治療チームの背中を押してくださり、共に歩んでくださいました。心より感謝申し上げます。

しかし、私たちの挑戦はここからです。テクノロジーを活用したシステム構築、急性期における終末期医療の環境整備、医療安全への継続的な取り組み、そして次世代を担う医療従事者の育成を通じて、高度急性期医療をより良いものにしてまいります。

私たちは、個人の挑戦を組織が支え、組織の成長が次の世代を後押しする循環を大切にしています。若手が活躍できる環境であり続けることが、私たちの願いです。

重症患者さんの管理において、私たちがお役に立てることがあれば、いつでもお声がけください。チームと共に、患者さんのために最善を尽くしてまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

集中治療室

集中治療室（ICU）では、重症病態や大手術の後など、命に関わる状態の患者さんに対して24時間体制で集中的な治療と看護を提供しています。看護師は、専門的な知識と高度な技術を持ち、多職種の医療スタッフと連携しながら、患者さんの命を支えています。心拍数や血圧などの循環状態、人工呼吸器設定や酸素飽和度などの呼吸状態を細かく観察し、少しの変化も見逃さないよう注意を払い、患者さんの身体



師長 崎田 妙子

だけでなく、心のケアやご家族支援にも力を注いでいます。突然の病気や手術による入院で不安な思いでおられるご家族に、病状や治療、入院生活の様子や変化を説明し、少しでも安心していただけるよう努めています。

またクリティカルケア認定看護師・心不全看護認定看護師、特定行為研修修了看護師が在籍

しており、根拠に基づいた看護および日々のケア評価を専門的な視点で実践しています。知識や技術の習得に対して高い意識をもったスタッフが多く、チームで情報を共有し話し合うことにより、患者さんにとってより良い看護を提供することを目指しています。私たち集中治療室の看護師は、患者さんの療養生活を支え、退院後の生活を見据えて寄り添いながら一日も早く笑顔を取り戻していただけるよう最善のケアを提供しています。



看護部の理念

安心と満足につながる
温かな看護の提供



地域連携医療機関紹介

青木眼科医院

眼科

医師
青木 恵子

〒503-0873
大垣市南高橋町2-11
TEL:0584-78-7723
休診日/
木・日曜日、祝日、土曜日午後



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:30	○	○	○	—	○	△	—
午後3:30~5:30	○	○	○	—	○	—	—

△土曜日の診療時間は午前9時から午後1時30分

先生
からの
一言

当院は一般眼科診療を行っております。わかりやすい説明と的確な診療を心掛け患者様の要望に添いながら安心していただけるように励んでおります。眼のお悩みのある方はご遠慮なくご相談ください。

村島内科

内科・循環器内科

医師
村島 謙

〒503-0921
大垣市新馬場町15-1
TEL:0584-78-2718
休診日/日曜日、祝日、
金・土曜日午後



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後4:00~7:00	○	○	○	○	—	—	—

先生
からの
一言

内科一般、循環器内科を主に診療しております。患者様に安心していただけるように丁寧なわかりやすい説明、的確な診断を心がけております。地域の皆様の良きかかりつけ医として、信頼される医療を目指しております。

岩田内科クリニック

内科・胃腸内科・小児科

医師
岩田 雅人

〒503-0114
安八郡安八町森部1383-1
TEL:0584-63-0038
休診日/日曜日、祝日、
木・土曜日午後



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後4:30~7:00	○	○	○	—	○	—	—

先生
からの
一言

当院は内科全般に対応しております。大垣市民病院との連携も密に行っており、紹介、逆紹介も迅速に対応しておりますので地域のかかりつけ医としてお気軽にご相談ください。くすりの処方院内で行っております。

ふじい内科クリニック

内科・消化器内科・小児科

医師
藤井 淳

〒503-2417
揖斐郡池田町本郷917-1
TEL:0585-44-2219
休診日/
日曜日、祝日、水・土曜日午後



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後3:30~6:30	○	○	—	○	○	—	—

先生
からの
一言

内科、小児科を中心に内視鏡・超音波検査、訪問診療、予防接種、健診など幅広く診療します。また大垣市民病院と連携し救急疾患にも対応しています。日常の健康相談から急な体調の変化までご相談ください。

小児・アレルギークリニックin GODO

小児科・アレルギー科

医師
竹中 学

〒503-2306
安八郡神戸町北一色582-2
TEL:0584-27-5115
休診日/
日曜日、祝日、水・土曜日午後



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後3:30~6:30	○	○	—	○	○	—	—

先生
からの
一言

当クリニックは小児科において西濃地域唯一のアレルギー専門医のクリニックです。小児科一般診療だけでなく、20歳までの気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻結膜炎など専門的に診療しております。

野村クリニック

内科・小児科

医師
野村 竜司

〒503-0532
海津市南濃町太田267-1
TEL:0584-59-0070
休診日/日曜日、祝日、
水・土曜日午後



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前8:40~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後4:30~7:00	○	○	—	○	○	—	—

先生
からの
一言

2000年に開業して、早くも四半世紀を超えました。西濃地域の医療は、大垣市民病院が中心であることを強く実感しております。今後も、この地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。

医療技術部

今日からできる肺炎予防

リハビリテーションセンター 理学療法士 平山 晃介



肺炎で亡くなる日本人の97.8%が65歳以上¹⁾とされ、また肺炎は年齢が上がるごとに死亡のリスクが高まる²⁾とされています。風邪をひく、インフルエンザにかかる、加齢により体力が衰える、持病により身体の抵抗力（免疫力）が弱まると、細菌などに感染しやすくなります。細菌が肺に入り込み増殖することで炎症が起こり、肺炎を発症します。日常でかかる肺炎の原因菌で最も多いのは肺炎球菌、次いでインフルエンザ菌となります³⁾。特に高齢者は、肺炎を多方面から予防することが重要になります。肺炎予防には、いくつかのポイントがあります。

①持病の管理

特に慢性呼吸器疾患、心疾患や糖尿病などの持病がある場合は、適切な治療を受け、持病の状態を良好に保つことが大切です。

②予防接種

高齢者は肺炎球菌ワクチンを接種することで、肺炎の発症や重症化を予防できます。また、インフルエンザワクチンを接種することで、インフルエンザの発症を予防し、肺炎のリスクを軽減できます。

③感染症対策

外出後や食事前などの手洗い・うがい。人混みや医療機関など、感染リスクの高い場所でのマスクを着用することで飛沫感染を防ぎましょう。また、混雑した場所への外出は短時間で

済ませましょう。これからの季節は特に換気と加湿にも注意しましょう。

④免疫力を高める

免疫力維持のため、栄養バランスの取れた食事を心がけましょう。特に、タンパク質、ビタミン、ミネラルを積極的に摂取しましょう。睡眠不足は免疫力を低下させます。毎日十分な睡眠時間を確保しましょう。適度な運動は、免疫力向上に効果的です。ウォーキングやストレッチなど、無理のない範囲で続けましょう。ストレスは免疫力を低下させるため、趣味やリラックスできる時間を持つことも大切です。

⑤その他

喫煙は、呼吸器の防御機能を低下させ肺炎のリスクを高めます。禁煙を心がけましょう。口腔内の細菌が誤嚥によって肺に入り、肺炎を引き起こすことがあります。毎日の歯磨きや歯科検診など、口腔ケアも行いましょう。



【参考文献】

- 1) 厚生労働省, 人口動態統計（確定数）2023年より作図
- 2) 日本呼吸器学会, 成人肺炎診療ガイドライン2024 p4
- 3) Fujikura Y, et al. BMJ Open Respir Res. 2023;10(1):e001800. (一部改変)

病院の理念

患者中心の医療・良質な医療の提供

大垣市民病院の基本方針

- ① 地域の基幹病院として、住民の健康と福祉の増進に貢献します。
- ② 患者さんの立場を第一に考え、公正且つ普遍的な医療の提供に努めます。
- ③ 医療安全を推進し、安心で安全な医療の提供に努めます。
- ④ 医学の進歩に沿って病院施設・医療機器の整備や充実を図り、専門的な医療の提供に努めます。
- ⑤ 公共性と経済性を両立し、健全な病院経営に努めます。
- ⑥ 地域の医療機関との連携を保ちつつ、患者さんに信頼される医療活動に努めます。

大垣市民病院臨床研修の理念

- ◎社会人としての規律を守り、医師としての自主性と高い倫理観を持ち、思いやりのある人格を育てる。
- ◎プライマリ・ケアに必要な幅広い診療能力を修得する。
- ◎チーム医療の一員として、安全・安心・満足の得られる患者中心の良質な全人的医療を実践する。



No smoking

健康増進法に定められた受動喫煙防止対策により、
当院の敷地・駐車場内は
全面禁煙です。
ご理解とご協力をお願いします。

大垣市民病院線



～駅と病院を直通
ノンストップ～

ワゴン車で運行!!

大垣駅南口↔市民病院正面玄関

運行日：市民病院の診療日

運賃：おとな 210円

こども 110円

*交通系ICカードは
利用できません

定員：8人（先着順）

時刻表

	大垣駅（発）	市民病院（発）
8時	00 30	10 40
9時	00 30	10 40
10時		30 40
11時	00 30	10 40
12時	00	10

お問い合わせ先／名阪近鉄バス株式会社 TEL. 0584-81-3328

当院は、臨床研修病院に指定されており、次世代の医師育成のため、上級医の指導のもと研修医の臨床研修及び学生の臨床実習を行っています。

編集後記

「四季の風」は平成15年に刊行し、今号で93号になります。バックナンバー（36号以降）は右記2次元コードよりご覧になれます。次回は4月1日に発行予定です。今後とも多くの皆さまの声をお聞きしながら、読みやすい紙面づくりを目指してまいります。ご意見ご要望がございましたらお気軽にお寄せください。



四季の風
バックナンバー

大垣市民病院広報・企画委員会

〒503-8502 大垣市南瀬町4丁目86番地
TEL(0584)81-3341 FAX(0584)75-5715

<https://www.ogaki-mh.jp/>

（電話でのお問い合わせについては、お間違いないようお願いいたします）